

超低高度衛星の利用に向けた サイエンスワークショップ

日時：平成27年5月26日 18:15-20:00

場所：幕張メッセ国際会議場101A会議室

(1) ワークショップ趣旨説明

18:15-18:20

(2) JAXAにおける超低高度衛星技術試験機(SLATS)の開発計画
と将来の展望について

18:20-18:40

JAXA/SLATS 佐々木プロマネ

(3) 観測ロケットの利用研究と超低高度衛星について

18:40-19:00

JAXA/ISAS 阿部 准教授

(4) 超低高度衛星の利用に向けた意見交換

19:00-19:50

(5) 今後の進め方

19:50-20:00

ワークショップ趣旨説明

宇宙航空研究開発機構(JAXA)では人工衛星による新たな価値創生に向けた取り組みを行っており、その一環として、これまで人工衛星がほとんど利用してこなかった超低高度軌道(180km~300km程度)における観測を計画しています。超低高度を利用する初号機として超低高度衛星技術試験機(SLATS)の開発を平成28年度の打上げに向けて進めています。SLATSにて軌道上実証を行い、その成果を後継機に継承するとともに新たな価値の創生に取り組んでいきます。

高度約100km~300kmの領域を地球大気最後のフロンティアとする考えもあり、研究者の方々から期待が寄せられています。超低高度衛星の利用による新たな価値の創生には、高層大気、熱圏、電離圏などの研究者により構成されるサイエンスコミュニティとJAXAとの関係構築が必要不可欠であると考えます。

これらを踏まえ、「超低高度衛星の利用に向けたサイエンスワークショップ」を開催することといたしました。JAXAにおけるSLATSの開発計画と将来の展望やこれまでの高層大気の観測等についてご理解を深めていただき、SLATSの観測成果の最大化や将来の超低高度ミッションの提案を行うコミュニティ体制の構築を行っていきたいと考えております。